

たんちよう通信

～ 第15号 ～

こんにちは、丹頂ガス社長の丹羽孝直です。お盆が過ぎ、まだまだ残暑が続く今日この頃です、皆さんいかがお過ごしでしょうか？！私事ですが、今年は初盆でした。無事に終えることができ、先代が他界してから早くも5ヶ月が経ちました。仕事はお陰様で順調に回っております。これも一重にお客様のご支持とご協力のお陰と存じ上げます。あらためて御礼申し上げます。

最近、私は経営者として人前で話をする機会が増えてきました。そこで「人前で話す」訓練をするセミナーに参加しました。（人前でガチガチになるので・・・）そのセミナーは「言葉、心の花」から「言と花」を取り、『コトハナ・セミナー』といます。「好感を持てる」「説得力」がある、より良い「人間関係」を作る「話し方」を学びます。このセミナーには、企業経営者からビジネスマン、OL、新入社員、主婦に学生と色々な分野の方々が参加されています。全10講の行程を日曜日の朝10時から夕方4時半まで3ヶ月の間隔週でビッチリやります。受講者の満足度が高い学びではありますが、せっかくの日曜日の家族サービスが犠牲になっているのも事実です。二児の母親である妻は、仕事に家事、それに子育てと大変な中、「自分の時間」など一切有りません。週末ぐらい子供の世話をしたいところですが、先週の日曜日は、子供達を母に預けて美容院へ行っておりました。文句一つ言わず、僕を支えてくれる妻に感謝です。



こんにちは丹頂ガスの下岡正利です。先月の社員旅行で長崎に行って来ました。僕たち第2班が楽しみにしていた二日目の軍艦島ツアーは台風の影響で波が高く、港から船が出ず中止になりました。（涙）それで、変更プランで平和公園へ行って来ました。公園に着いて、最初に目に入ったのが「平和記念像」です。なんとあのポーズには意味がありました。“モデルは「力道山」です！”

右手を上には伸ばしているのは、「原爆の脅威」を示し、左手は水平に伸ばして「平和」を意味しています。顔のホクロ、胸の十字は、キリシタンと仏教を意味して「人類皆平等」肩に掛かった布は「川」を示し、銅像の下にある池は「喉が渴いても大丈夫」という想いで創られました。その意味を知って、銅像を眺めていたら、胸が熱くなってきました。

新入社員の山中
20歳です！



下岡正利 29歳、宜しくお願いします！

今から70年前の1945年8月9日11時2分に長崎に原爆が投下されました。実は広島原爆より威力は大きい物だったにも関わらず、被害は少なかったと言われています。山に囲まれた地形が長崎の被害を少なくさせたそうです。原爆は投下するとまず、落ちた風圧で地面がしずみます。そこから輪っかの様に約8000度の熱、放射線が広がります。約1.5キロ圏内では、ほぼ死に至ります。想像もつかない光景でした。館内には悲惨な写真、映像、残骸などが展示されています。皮膚がただれた人が横たわり、亡くなった親の横で立つ子供。子は親を、親は子を探し、目を瞑りたい光景でした。戦争が起きると、また同じ悲劇を繰り返すのかと思うと胸が締め付けられる思いです。今でも世界の各地で紛争が行われています。他人事のようにテレビで見ている自分ですが、今回平和記念館で、忘れてはならない「日本の歴史」を学びました。

はじめて企画する丹頂ガスの「お得意さま紹介」です！

初回は四日市名物“大とんてき”で有名な「まつもとの来来憲」橋本店主と奥様にインタビューして参りました。



とても仲が良いお2人です！

我社と橋本さんとのお付き合いは、50年以上になります。余談ですが昔、橋本さんは我が家の斜め前に住んでおられました。学生時代はアルバイトで創業者の祖父の下、**丹羽プロパン商会の三輪車ラビット**に乗りながらプロパンガス、レンタンや時きを配達されていたそうです！お昼時に橋本家に帰ってご飯を食べていると、祖父が家まで押しかけて「**かつちゃん！ 昼もウチで一緒に食べてもらわな困る！**」とわざわざ言いに来たそうです。祖父曰く、仕事をして貰っている以上は、「**仕事もご飯も**」一緒にするのが大切との事でした。

高校を卒業した橋本さんは、来来憲本店（現在の焼肉家族亭さんの場所にあったそうです！）に10年間勤められ、下積み修行をされます。ある日、亭主より「**お前はわしより、肉を上手く焼くように成った！**」とお褒めの言葉を頂いたそうです。一番弟子の橋本さん、「**跡取り候補者**」では有りましたが、しかし独立心が強い橋本さんは本店に留まらずに、のれん分けをして独立されます。

本店の亭主自ら「**新店舗**」の土地を探して貰いました。そこが現在の「**まつもとの来来憲**」です。当時、松本街道は行き止まり！しかも砂利道でした。そんな 中心部から離れたへんぴな土地でしたが、亭主は「**ここなら間違いない！**」と言いきり、亭主の言うことなら「**間違いない**」と橋本さんも思い、土地を購入されました。オープン当時は、母親とパートさん2人で朝11時から夜の12時まで営業されていたそうです。理由は「**暇から…**」（今ではとても考えられない事ですね！）

そして、オープン一年後、橋本さん31歳の時、奥様と出逢い、御結婚です。ここからが橋本さんと奥様との二人三脚で歩む、日の出の勢いある「**まつもとの来来憲**」の成長物語が始まります。長女、次女、三女と生まれるに連れて、お店も繁盛していきました。そんな中で奥様はお店で子供をおんぶしながら仕事をされていたそうです！奥様をいたわる橋本さんは1人子供が生まれる度に営業時間を1時間ずつ縮められました。そして4人目となる長男が生まれ夜8時オーダーストップへと変更されます。これが今の営業時間です。

しかも現在では飲食店には珍しく定休日は月曜日と火曜日の週休2日制です。

橋本さん曰く「**とてもじゃないが、身体がもたん！**」土日は6割以上が他府県からきたお客様です。夜8時



三重県産豚の厳選肩ロース 250gのボリューム



四日市名物 大とんてき

で来店したお客さんには、必ずオーダーを取りますので、お店を閉めるのが11時過ぎになることもあるそうです。現在息子さんが修行中です。そのご指導は「**忙しい時も丁寧に肉を焼け！**」「**そしていつも緊張して焼け！**」そう仰る橋本さんは、たまに一人前余分に注文を出して、抜き打ちテストをされるそうです。息子さんの成長が楽しみです！橋本ご夫妻、「**これからもお身体に気をつけて頑張ってください！**」